

# 神楽橋下流右岸広場 生態階段花壇

豊かな自然と都市が  
調和するまち旭川

周りの山に緑が繋がっていく

石狩川

近文清掃工場

石狩川

旭西橋

グリーンベルト構造は  
自然を分断しないようにして  
人工のインパクトを抑える

JR 函館本線

忠別橋

神楽支所

大雪クリスタルホール  
博物館

クリスタルパーク

クリスタル橋

川と街の間を  
風がとおる

氷点橋

JR 旭川駅

昭南通

駅南広場

宮下通

都市と自然の間  
駅を中心とする中心市街地と  
自然豊かな神楽岡公園をつなぐ  
グラデーション

ガーデンセンター

永隆橋通

鏡池

宮前公園

忠別川

←美瑛・富良野へ

JR 富良野線

生態階段花壇

中央橋通

忠別川河畔で見られる在来種を  
植栽して作られた花壇

噴水

街路樹によって  
繋がる都市と河川

新成橋通

神楽岡公園

神楽橋

新神楽橋

→シビックコア地区へ

科学館

大雪通へ

川に向かうと遠くに  
山や丘が見える

階段状の護岸は  
もしもの洪水と普段憩う公園を  
両立させる

アウェアネス

トゥ

ネイチャー

# AWARENESS TO NATURE

都市にいても 緑と川の気配を感じ 自然へ気づく

神楽橋下流右岸広場は  
「北彩都あさひかわ」の一環として  
整備されました。

# 神楽橋下流右岸広場 生態階段花壇

神楽橋下流右岸広場は、都心部と自然豊かな河川空間が融合した一体的なまちづくりを目指す「北彩都あさひかわ」の一環として整備されました。

旭川駅を中心とする中心市街地と自然豊かな神楽岡公園をつなぐ緩衝地帯であり、都市にありながら自然の河川の情景が感じられるというコンセプトに基づき、在来の野草を中心に植栽した花壇「生態階段花壇」を設置し、市民ボランティアと協力して整備に取り組んでいます。

また、この場所の重要な役割の一つは、洪水を防ぐ護岸だということです。階段状の構造は、増水時には街を守り、普段は憩いの場所であることが両立するように、関係機関が話し合いながら計画し実現したものです。



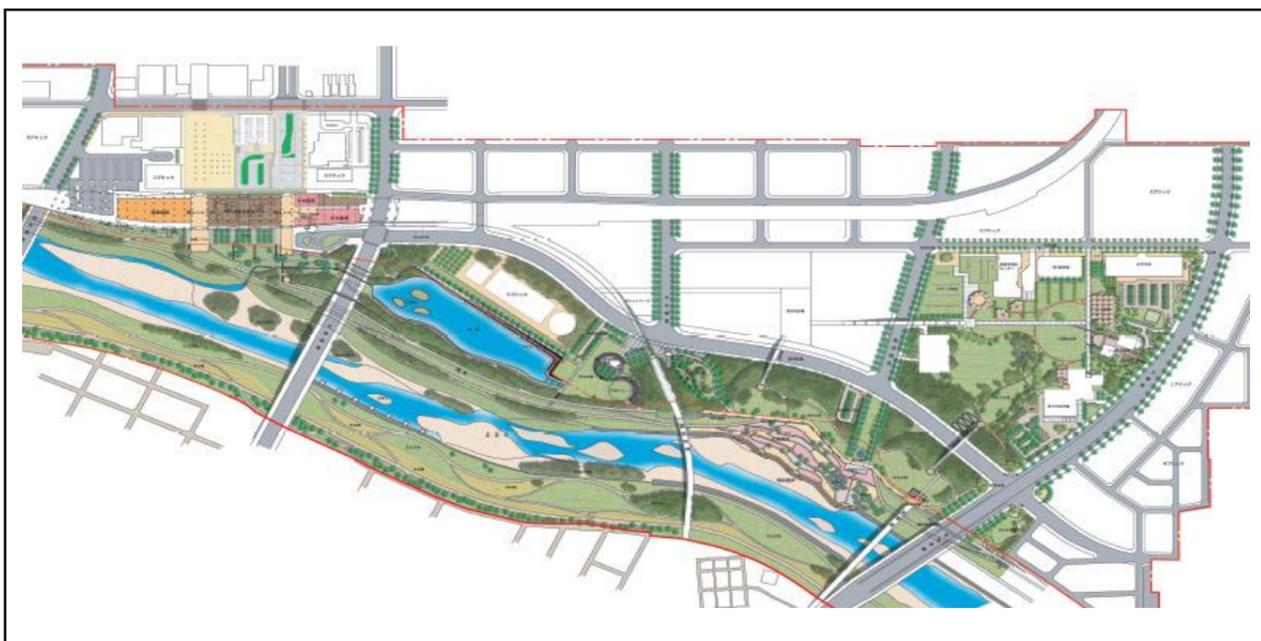
生態階段花壇から神楽岡公園方向を望む



植栽している在来の野草を一覧できる見本園

生態階段花壇から旭川駅方面を望む

増水時の生態階段付近



## 植栽している植物の種類

忠別川河畔にみられる在来種の中から、次のような種類の植物を植栽しています。

白花系	メドハギ (マメ科)、エゾゴマナ (キク科)、カワラハハコ (キク科)、ゲンノショウコ (フウロソウ科)、ヒヨドリバナ (キク科)、オトコエシ (オミナエシ科) など
赤花系	ヤナギラン (アカバナ科)、ヨツバヒヨドリ (キク科)、エゾミソハギ (ミソハギ科)、ミズヒキ (タデ科) など
黄花系	アキノキリンソウ (キク科)、クサレダマ (サクラソウ科)、トモエソウ (オトギリソウ科)、ハンゴンソウ (キク科)、キンミズヒキ (バラ科) など
青花系	ツリガネニンジン (キキョウ科)、エゾクガイソウ (オオバコ科)、エゾノコンギク (キク科)、ウツボグサ (シソ科)、カワミドリ (シソ科) など
その他	ヤマアワ (イネ科)、ススキ (イネ科)、オギ (イネ科)、ヒロードスゲ (カヤツリグサ科) など



### ヨツバヒヨドリ (キク科)

花期: 7~9月頃 **赤花系**  
種: 綿毛があり、風で運ばれる  
☞ ヒヨドリバナと似ているが3~4枚の葉が輪生している。



### ヒヨドリバナ (キク科)

花期: 7~9月頃 **白花系**  
種: 綿毛があり、風で運ばれる  
☞ ヨツバヒヨドリと似ているが、2枚の葉が対生している。



### エゾクガイソウ (オオバコ科)

花期: 7~9月頃 **青花系**  
種: 小さくて風で舞い散る  
☞ 数段にわたって5~10枚の葉が輪生。



### キンミズヒキ (バラ科)

花期: 7~9月頃 **黄花系**  
種: 動物にくっついて運ばれる  
☞ 金色の水引に見立てて、名付けられた



### ヤマアワ (イネ科)

花期: 7~9月頃 **その他**  
種: 穂状につき、風で運ばれる  
☞ ガーデニングの本場イギリスでは人気。



### ゲンノショウコ (フウロソウ科)

花期: 7~9月頃 **白花系**  
種: 熟すとほじけ飛ばす  
☞ 葉草の効きめがすぐ現れるという意味の名前。

植物は動かないものと思われがちですが、種や根・地下茎などの形で移動していきます。特に種は、遠くへ運ばれるための色々な工夫を持っています。

